

未来



全労協・郵政産業労働者
ユニオン長崎中郵支部
機関紙「みらい」
NO. 4479
24年9月10日(火)
Tel・Fax 095-828-1953
文責 支部書記長

ヤマト運輸新商品発売 競合必至！協業への影響は？

おはようございます。
ヤマト運輸は専用資材を事前購入するだけで、全国一律420円で荷物が送れる新商品「こねこ便420」を8月26日(月)から東京都で販売を開始しました。
利用方法は運賃込の専用封筒(420円)を、ヤマト運輸の営業所からライバーから事前に購入し、封筒に荷物を入れて宛先や品名を書き、ヤマトの営業所に持ち込むか集荷を頼んで送ります。ヤマト運輸の「荷物お問い合わせシステム」から荷物の追跡も可能で最短1日で郵便受けに配送します。

などの有価証券類などは送れませんが補償額(責任限度額3,000円)があります。



この新商品発売のニュースを聞いてすぐに思い浮かぶのは、レターパックライトやゆうパケットと商品特徴が類似していることです。

ヤマト運輸は日本郵便との協業を昨年スタートし、小型の荷物から事実上撤退したはずのこの時期に、なぜ小型の競合商品を発売したのでしょうか。

ヤマトホールディングスの24年3月期通期の業績は、営業収益1兆7586億円(前期比2.3%減)、営業利益401億円(同33.3%減)となっており、減収減益となつています。宅配便の単価は上昇したものの、取扱数量が減少したことが響いています。

ヤマト運輸と日本郵便が業務提携を昨年スタートし、今年2月には、「クロネコDM便」は全て「クロネコゆうメール」として日本郵便での配達となりました。

また、ヤマト運輸の小型の荷物「ネコポス」も順次「クロネコゆうパケット」として日本郵便へ移管されています。

ヤマト運輸は引き受けたメール便やクロネコゆうパケットを郵便局に送り、日本郵便が郵便受けに投函・配達する。小回りのきくバイクを使った細かな配達網を持つ日本郵便にメール便やネコポスを移管し撤退した形になりました。



メール便配達委託やパートの社員の首を切つてまでヤマト運輸としては利益率の高い宅急便に注力したはずなのに結果、増収には繋がりませんでした。そこで増収を見込まず新たな商品として、「こ

ねこ便420」を発売したのではないのでしょうか。レターパックライトは現在370円ですが、10月1日の料金改定で430円に値上げ予定です。「こねこ便420」の運賃込の封筒の値段は420円でレターパックライトの料金改定を見据えた金額に設定されています。



ねこ便420」を発売したの(23年度は3,394億円)、ゆうパケットについては23年度比で倍増となる1,600億円(23年度は807億円)のほかに、ゆうメールについても2,100億円(23年度は1,880億円)の収益引き上げを計画しています。



一方、日本郵政グループも2023年度決算は、郵便・物流事業は686億円の営業赤字に沈みま

した。現行のグループの中期経営計画を見直し、25年度の郵便・物流事業の営業利益を900億とし、売上高営業利益率を3.5%まで引き上げる計画です。内容は25年度にゆうパック収益を4,000

そのような中で、小型の荷物でまた、ヤマト運輸との競合が始まることになり、計画されている収益引き上げは厳しくなることが予想されます。この新たな競合商品の発売で、鳴り物入りでスタートしたヤマト運輸との協業にも暗雲が立ち込めてきたと言えるでしょう。

仲間と競争せず、弱い立場の人と共に団結して闘おう。

期間雇用社員と希望者全員を正社員化を。

ゆげや、均等待遇、なげんご差別。

ユニオンは労基法裁判に勝利したんや。

期間雇用パート労働者の皆さん！ 困りごとは職場の郵政ユニオンへご相談を。

1集-海江田, 2集-向井, 3集-山田, 支部・分会の役員へ。

郵政ユニオン長崎の
ホームページはこちら

